

定年を機にUターン



移住者名	嶽釜さん (60代 男性)
住所	大原地区
移住した年月	平成28年 3月
移住前の住所	群馬県館林市
家族構成	一人
仕事	無職

きっかけ

・定年して年金をもらえる年齢になったのをきっかけに、故郷に残した母が施設に入所しているのので、世話をしたいと思いUターンを決意しました。

移住までの経緯・概要

・以前は、群馬で製造業の仕事に就いていましたが、定年をきっかけに、年金がもらえる年齢になったら、地元の施設に入所している母の世話もできると思い以前よりインターネットで「いちき串木野市」のホームページ等で転入者補助制度などをチェックし、Uターンを決めました。

・知人の建設業者にマイホームを依頼し、知人の世話で、自治会活動や、趣味の野球とのつながりもできやりの繋がりができました。

良かったこと・苦労したこと

《良かったこと》

・子供のころから野球をしていて、職場でも役に立ちました。今は、知人が、少年野球の指導をされているご縁で、少年野球チームの応援をしています。

《苦労したこと》

・食事をするところ、買い物をするところ、遊ぶところが近くに少なく不便に感じます。

・車での移動が主になってきましたが、時々車の運転のマナーの悪い人がいて、(路上駐車、急な進路変更、スピードの出しすぎ等)、怖い思いをしました。

・群馬にいたとき東日本大震災を経験しましたが、こちらは、大きな災害が無く、台風は、予報が出るので対策できるので安心して暮らせます。

移住を検討している方へのメッセージ

・事前にインターネット等で情報を得ることです。

・奉仕作業など地域活動に積極的に参加し、人とつながるとさらに、暖かい人情のつながりが広がります。